



あのとときの常呂・写真館

VOL 104

(1986年)

昭和61年8月25日

常呂町開基百年記念事業・古老座談会

▶『常呂町百年史』（平成元年3月30日発行）の付編2に標題の座談会が25ページにわたって収められています。明治の末期から大正の初期に生まれた人たちが多く、大正時代から昭和10年代のころまでのさまざまな話が飛び交い、読んでいておもしろい座談会です。●常呂川の大洪水と水害、堤防の築堤工事にまつわるエピソード、大正時代の栄浦と鑑沸の漁業や暮らし、本通りにある教育所跡の木柱から始まる地域の教育所の状況、日吉・福山の山林から切り出した木材を材料にしたマッチ製軸工場のこと、地区ごとの電気の導入事情、昭和に入ってからのもとも賑わった草競馬の思い出など、同じ時代を共有した人たちの話は尽きることがないエネルギーにあふれています。●残念なのは、おおまかな年代で話されるため、事実との確認ができないまま話題があちこちに飛んでいること。ただ、大正8、9、11年と続いた常呂川の洪水による水害は皆さんが強烈な記憶として残っているため、当時の被害状況が詳しく語られています。●60代以上の人たちには、家族やまわりの人たちから聞きかじった話題や名前が出てくるので、かつての常呂の歩みに触れる資料になると思います。 *会場は多目的研修センター和室







※この古老の座談会は、残っていたビデオテープを2枚のDVDに複製し、常呂図書館で保存しています。貸し出しはできませんが、図書館内で視聴することができます。